



PHOTOGRAPH BY TAYURA

WAVE!

Shingo Amamiya Narita City Report

2009.10
Vol. 10

成田市議会議員

蒼成会

雨宮しんご

活動日記を毎日更新!!

雨宮しんご

検索

30歳

ごあいさつ



政権交代を機に、今日の政治が大きく変わろうとしています。ですがその一方で、教育問題や子育ての問題、医療危機の対策や高齢者福祉、介護の問題など市民の皆さまに直結する課題の多くは国政ではなく、その現場を担っている基礎自治体、地方政治にあります。

地方政治に携わる一地方議会議員として、市民の皆さまに実感が得られる社会システムを目指し、世代としての発信を強めながら、邁進してまいります。

9月定例会議においても積極的に一般質問や質疑に立ち、市執行部との議論を深めてまいりました。是非ご覧下さい。また紙面の関係上、詳細は「雨宮しんごHP」よりご覧いただければと存じます。



京成電鉄株式会社へ 要望活動に赴きました。

7月28日に新駅・基幹交通網整備促進特別委員会副委員長として市長部局と共に要望書を提出してきました。

成田新高速鉄道線は来夏にも共用が予定されており、成田市民の皆さまはじめとする沿線住民が利用しやすい、運賃設定・ダイヤ編成となるよう求めました。



9月定例会議のあらまし

今般の定例会議では24議案が上程、審議されました。私が主眼を置いた議案は以下の通りです。

● 議案第23号「成田市一般会計補正予算」

一定の効果は伺えるものの、経済の活性化や雇用対策に十分な対策とは思えない!!

今回の補正予算は、「地域活性・経済危機対策臨時交付金」をはじめ「緊急雇用創出事業補助金・ふるさと雇用再生特別基金事業補助金」と、政府の緊急経済対策や雇用対策として行われた国庫支出金が、補正予算歳入全体の約57%に当たる3億6千万円以上を占めました。

このひも付き(使途制限つき)補助金の歳入に合わせて様々な事業を歳出、計上しているので、一定の効果が期待されることは分かりますが、雇用対策については、市の失業率や業種別雇用状況の把握が十分にされていない現状で事業選定を行うなど、時間的制限があったとはいえ、適切な内容とはいえないものでした。

また、地域活性・経済危機対策臨時交付金については、そのほとんどがテレビや電子黒板などの備品購入に配分されていました。ですが、成田市の地域活性に必要なのは何も商店への経済刺激だけではないはず。例えば建築・土木業界、製造や輸送業界等々、今般の経済危機をともに受けて

困窮しているところが数多くあります。その意味で、それぞれの業界逼迫度をどう把握した上で、その業界にどういう角度から刺激を与え、どういう効果を見込んで、予算措置したのか質しましたが、事前分析による適所への予算投下ではなく、結局のところ地域活性や景気対策という大義の下で国からお金をもらえるから来年度予定の事業に当て込んだ、というものでした。

一定の効果と、市民の皆さまのために少しでも早くサービスを提供したいという思いを汲み、厳しい指摘と要望に留めるという形で今回は賛成しましたが、「どうすれば景気回復に効果的で、どうすれば成田市民の皆さまの雇用を守ることができ、その上でどうすればより効果的な予算措置となるのか。」

景気対策は国や県の仕事・・・と放棄するのではなく、市民の皆さまと直結している基礎自治体、成田市だからこそできる景気浮揚策を検討すべきです。補正予算ということから時間的制約があったことは理解しつつも、次回からは適切な予算配分を願うものです。

● 議案第7号(仮称)成田市・富里市新清掃工場建設工事請負契約の締結について

超大型公共事業である清掃工場建設事業は、昨年の指名審査会で突然入札条件が変更されるという不自然な入札手続きを議会が指摘、報道でも大きく取り上げられたことから、入札を中止した経緯がありました。ですが今般、従来の条件設定に戻

され、十分な競争性が発揮されたことを確認し、今契約案件に賛成・可決されました。これにより当初計画から概ね半年の遅れが生じますが、市民の皆さまの利益を損なわずにすんだことは、議会としての責務を果たせたものと思っております。

● 議案第4号「成田市税賦課徴収条例の一部改正について」

平成21年～平成25年までに入居した適用者を対象に所得税から控除し切れなかった住宅ローン控除額を、最高9万7,500円を限度に控除する。これは経済危機に伴う国の景気浮揚策として、新たな住宅ローン減税制度などの整備に伴う条例の一部を改正するものです。

個人住民税に住宅ローン特別控除を行うことにより中・低所得者へも減税効果がおよぶことから、住宅投資の活性化による経済全体へ波及効果が期待できます。

議案第12号～第21号は決算関連議案

この度、決算特別委員会委員に選任されました。成田市議会では「決算審議」は特別委員会を設置し、集中的に審議を行います。後に世界同時不況となっていく2008年度の予算執行を厳しくチェックしてまいります。



日時:10月27日～30日 10:00～

審議内容は、傍聴・HPにより確認ください。

雨宮しんご

雨宮真吾事務所

事務所：〒286-0018 成田市吾妻 3-48-28
tel : 0476-27-5918 / fax : 0476-27-1051info@ama-shin.net
www.ama-shin.net

- 1978年10月31日生まれ(30歳)
- 元進学予備校講師
- 最年少、過去最高得票で平成19年成田市議会議員選挙に初当選
- 総務常任委員会委員
- 新駅・機関交通網整備促進特別委員会副委員長
- 都市計画審議会委員
- NSA公認指導員

出前市政報告会!

雨宮しんごは、お一人にでも多く市政の現状・問題点をお伝えするため、出前市政報告会を行っています。「直接、議会報告を聞きたい。」「成田市政、成田市議会に言いたいことがある。」など、報告のみにとどまることなく、ざっくばらんに市政について意見交換が出来ればと思っています。ご希望の方は、メールかFAXにてご連絡ください。お待ちしております!

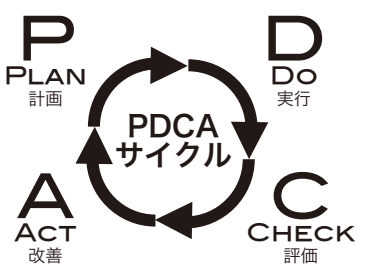
21年9月定例会 雨宮しんごの一般質問

今定例会では14人が登壇しました。

成田市に限らず行政の多くの事業は、恒常的に毎年行うため特段の反省・改善がなされることなく「前年度踏襲」で、淡々と事業が継続されがちです。

そこで今回は、各事業へのPDCAサイクルの導入提案を基軸に、住民基本台帳カード発行手数料無料化や狂犬病予防接種率向上策、鑑札・注射済票装着率向上策など提案・要望を行いました。

担当課職員の方々から、前向きな姿勢や意欲を感じていた通り、答弁では、今後の具体的改善目標や具体的取組みが示されるなど収穫が多くありましたので、今後の改善を期待したいと思います。



今質問は出前市政報告会で多数寄せられたご意見をもとに構成しました。
ご意見ありがとうございました。

新型インフルエンザにおける成田市の危機管理体制にギモン！

◆縦割り行政にギモン！

成田市で集団感染に伴う学級閉鎖措置が続いています。ですがこうした中において、「私立幼稚園は県の業務…」と情報が小中学校間のみでしか共有されていないことが明らかになりました！

ほとんどの幼稚園児が市民であり、しかも幼児は重篤化し易いことから縦割り行政ではなく、成田市の危機管理体制として危機で素早い情報共有が求められるのではないのでしょうか。

雨宮しんごの指摘により、私立幼稚園等についても小中学校の集団感染情報は、市が直接伝達、共有される体制となりました！

◆名ばかりの成田市新型インフルエンザ対策本部？

この問題は、総務常任委員会で取り上げました！

成田市では「危機管理課」が既設、また市内感染確認に併せ、5月30日には同本部が別途設置されました。市内流行に対し成田市教育委員会では季節性インフルエンザよりも厳戒に適切な学級・学年閉鎖措置を講じ、児童生徒への感染拡大に努めていますが、一方で、市民全体をみる同本部は6月14日の会議以降、市内で流行、学級閉鎖が始まっていたにも関わらず後々の9月15日まで、対策本部が一度も開かれず、また、HPでの情報公開／更新作業一つをみても整合性が取れてないなど、対策本部が名ばかりのものであることが雨宮の指摘により明らかになりました。

国から方針転換が示されたとはいえ、この時期のA型は新型インフルエンザとほぼ断定される中、市民の皆さまを新型インフルエンザから守るために設置したはずの同本部の危機管理体制には、首をひねらざるを得ません。常設部門である「危機管理課」との連携により、幅広く緻密で素早い対応を願うところです。

第一優先に考え守るべきは「縦割りの行政組織」ではなく「市民の皆さまの生命の安全」です。一般質問や常任委員会でその都度指摘してきましたが、雨宮しんごは、今後も動向を注視しながら適切な対応を求めてまいります。

成田市単独で7,987億8,400万円の新たな経済波及効果！！

成田空港の容量拡大に伴う経済波及効果調査が報告されました。来年度には現在の発着枠回数20万回から22万回になることで合意されていますが、仮に年間発着回数30万回を達成した場合の経済波及効果は、建設投資を含めて1兆1,388億円増加するという試算がなされています。

また、成田市単独では、平成19年比で成田空港内が6,254億9,700万円、成田空港を除く成田市で1,732億8,800万円と、合計7,987億8,400万円の新たな経済波及効果が見込まれています。

昨今の経済危機を迎える中、こうした経済波及効果は確かに魅力的であり、同時に来年度のD滑走路完成に伴い、6万回の国際線

枠を有することになる羽田空港のプレッシャーは強く感じます。成田空港が世界の玄関であり続けるためにも、空港容量30万回の議論は前進すべきだと認識していますが、成田空港は内陸空港のため、騒音地域に対する配慮や新たな地域振興策が必要不可欠であり、騒音下住民の方々への理解こそが最優先なのは言うまでもありません。

年内にも容量30回拡大に伴う、新たな飛行コースとそれに伴う騒音コンター（輪郭線）が示される予定となっていますが、成田市の現状維持と発展のためには成田空港の拡充が絶対条件であることから、この問題については真正面から取り組んでまいります。

ご意見下さい！ 市政全般について、雨宮しんごについて等々、どんなことでもかまいません。ざっくばらんなご意見を、お待ちしております！

FAX送信用紙 0476-27-1051

■ご協力いただける項目がございましたら、印をつけて下さい。

☐ 出前市政報告会を申し込みたい。 ☐ 会って話しがしたい。 ☐ ポスティングの手伝いができる。

☐ インターンに参加したい(対象:大学生) ☐ 雨宮しんごを応援してるぞ！ガンバレ！

☐ その他()

フリガナ
お名前

住所 〒 - -

電話番号 - -